

光栄の森



平成25年2月 毎月1日発行 第56号

発行者 光栄プロテック 重延

2月を迎えるにあたって

□

代表取締役 三田雅憲

正月もあっという間に過ぎて、本当に寒い日が続きますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。1月より比較的多く仕事が入り、各班長および皆様には、いろいろな思いをされていることと思います。一物件あたりにかける時間が限定されているので、どうしても見切りが早くなりがちです。

先日参加しました、枚方東部企業団地の総会に交野警察署 署長の講演がありました。「枚方市の犯罪件数は実は結構多い」とか「オレオレ詐欺も発生しているので気をつけてほしい」や「交通事故は、鳥取県や島根県などの県以上に発生している」そして「車を止めてキーを差し込んだ状態で車から離れて車をとられた場合、とられた車で起こされた人身事故や物損に対する弁償金は、車の所有者である車を盗まれた人が弁償責任を負うので十分に注意してください」などと話をされておられました。

そして交野警察の警察官に日頃から訓示していることとして、いくつか紹介をされていましたが、その中で「ABCの実践」という事を強く言われていました。「単純で些細な事柄ほど意識して集中し、しっかりと取り組む事が大切である。」という主旨のことだそうです。事件を解決するために、どんな些細な事柄であっても気を抜かず、しっかりと意識をしなければ解決に行き着かない場合があるのだそうです。

私たちの塗装に関しても同様なことがいえるのではないかと思います。単純で些細なこと、たとえば脱脂処理やサンディング処理をきっちりと行う。塗料の攪拌(フラットベースや沈殿色を十分にかき混ぜること)を十分に行うこと。お客様の指定膜厚を堅持し、確認をしっかりとすること。製品と図面を比較しどのように見えてくるかを確認すること。塗装ブースに水打ちをして、また窯をエアブローして清潔に保つことも些細なことですが、意識すべき大切な点です。また、プライマー塗装に関しても、ただプライマーだからといったいい加減な気持ちではなく、プライマーからきっちりと塗ること。また仕上がった製品を丁寧に梱包するなどの気持ちも非常に大切であると思います。些細な事柄がしっかりとできているから全体として素晴らしい製品が仕上がるのだと思うのです。こういった部分をしっかりとみんなで理解して実践してゆけば、必ず必要とされる会社になることは間違いありません。

2月2日から、eo光テレビとK-CATで当社の会社紹介をしていただきます。詳細に関しては、会社の業務連絡にてお知らせしておりますが、ご家族の皆様やご親戚・ご兄弟の方々にもご覧いただくように、お知らせ願えればありがたいです。

2月も硫化・硫化色や石目調で大変になりますが、みんなで気張ってがんばりましょう。